

# 設置の前に

## ■電源について

電気配線工事は、関連する法令・規定に従い、必ず「法的有資格者・指定業者」が行ってください。電源は必ず過電流遮断器の設置された単相100Vの専用回路を設けてください。

単相100V電源工事を行い、定格15A以上の100V用アース付専用コンセントを設置してください。

【※サービスコンセント最大出力容量 1500W(下記の本体定格消費電力を含む)】

「本体定格消費電力360/450W(50/60Hz)、推奨コンセント：パナソニック(株)WN1101」

- コンセントは単独で使用してください。  
たこ足配線にすると、分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。
- ブレーカーおよびヒューズは必ずコンセントごとに準備してください。

床下から製品内部に湿気が上がってこないように、適切な防湿処理(結露対策など)を施してください。防湿処理が不十分な場合、結露により漏電や内部の金属部品にさびが発生するおそれがあります。

## ■接地工事について

万一の感電における事故防止、および制御回路の耐ノイズ性を向上させるため、必ず本製品専用のアースを設けてください。

### ●D種以上の接地工事を行う

電気機器にはD種以上の接地工事を行うことが法令で義務付けられています。

D種接地工事を必ず実施してください。なお、接地工事は必ず電気工事士の資格を持った方が行ってください。

### ●次のようなところにはアース線を接続しないでください。

- 水道管：配管の途中が塩化ビニル管の場合、アースされません。
- ガス管：爆発や引火の危険性があります。
- 電話線・避雷針：落雷時、大きな電流が流れ危険です。

## ⚠ 注意

### 電源プラグの取り扱い

電源プラグは、ほこりの付着がないことを確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因となります。

### 電源コードの取り扱い

電源コードに無理な力をかけたり、加工、ねじり、曲げなどしないでください。

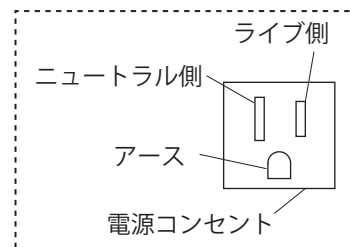
また重い物を乗せたり、挟み込んだ場合、電源コードが破損し、感電や火災の原因となります。

### コンセントの取り扱い

コンセントは単独で使用し、必ずアース端子付きを使用してください。たこ足配線にすると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

### 点検するときは電源プラグを抜く

本製品内部の点検や調整を行うときは、電源プラグを抜いてから行ってください。通電状態で電気部品などに触れると感電の原因になります。



## ■電源コンセントの点検

床から立ち上げた電源コンセントが正しく配線されているか

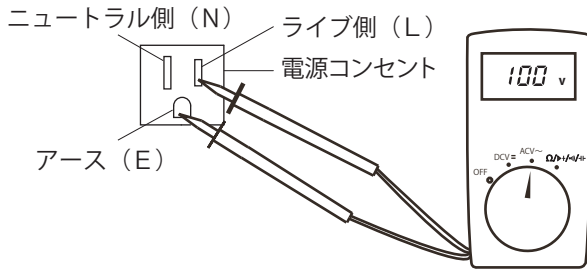
以下の方法により確認してください。

※正しく配線されていない場合、感電するおそれがありますので速やかに改善してください。

ただし、改善する場合は、必ず電気工事士の資格を持った方が行ってください。

- ・ライブ (L) とアース (E) 間及びニュートラル (N) とアース (E) 間の電圧を測定
  - ① (L) と (E) 間の電圧が 100 V 付近 (最大±10 V) になっていることを確認してください。
  - ② (N) と (E) 間の電圧が 0 V 付近になっていることを確認してください。

※②場合に (N) と (E) 間で数Vの電圧が発生する場合がありますが、作動に支障はありません。



L : ライブ (非接地極側)  
N : ニュートラル (接地極側)  
E : アース (接地極線)

※検電器や検電ドライバーを用いて確認も可能です。

## ■床面について

- 床面材料・床面仕上げ材は、防水材もしくは防水加工したものを使用してください。
- 床面は必ず水平 (傾斜 6 / 1000 未満) を確保してください。
- 床面は、取付部分に凹凸がないよう平滑にしてください。
- 配管立上について

[配管仕様]

給湯・給水	R c 1/2" 13mm
排水	V U 40 / V P 40

[立ち上げ寸法]

給湯・給水	50 mm
排水	50 mm

- 床仕上げがタイル等の素材の場合、本製品取付時のボルトの締め込みにより、「割れ」が発生します。この場合、『製品固定位置図』【31ページ】および各営業所に配布の型紙を参考に、床と接触している取付部分は合板、モルタル等の素材に変更してください。
- 床面には以下の強度が必要です。

木製床の場合	ベニヤ厚 30 mm 以上 (15 mm 板 2 枚重ね以上)
モルタル床の場合	モルタル厚 50 mm 以上
特殊な床 (石張り等) の場合	設置位置に上記の強度を確保した土台が必要

## ■漏水対策について

- 階上設置される場合は、必ず防水処置 (防水工事、ステンレス鋼板製のパンの設置、もしくは漏水センサーの設置等) を行ってください。
- 配管立ち上げ部の開口部と配管との隙間は必ずコーキング剤等でふさいでください。

## ■配管施工について

ここに書かれた事項は、配管施工に関する重要な内容です。この内容を十分にご確認のうえ、正しい配管工事を行ってください。

- 本製品を設置されるときは、『タカラグループ理美容給排水設備工事標準』、および本書の『配管施工上の注意』に基づいて配管施工を行ってください。注意を怠って配管されると、ミキシングが満足に働かず、一定温度のお湯が得られないことがあります。
- 本製品は室内専用です。設置は必ず室内に行ってください。

## ■配管施工上の注意

- 給水（一次給水）配管
  - ・市水道直圧管の場合、各水道局指定の工事店に依頼し、その地域の“水道局施工基準”等の法規に従って工事を行ってください。
  - ・市水道直圧管以外（高架水槽下り給水管等）の場合、その地域の“水道局施工基準”等の法規に従って工事を行ってください。
- 給水配管には錆の発生する管材料は使用しないでください。原則としてV P管または、その地域の指定材料をご使用ください。
- 給湯配管には原則として脱酸銅管、Lタイプを使用してください。
- 給湯・給水配管は原則として同径同圧にしてください。
- 管の切断面は必ずリーマをかけてバリ取りをしてください。
- 空気溜りの原因となる逆U字配管（鳥居配管）は避けてください。
- 給湯・給水管内の配管くず・ゴミ・砂・油はトラブルの原因になりますので、必ず除去してから配管接続をしてください。
- 配管接続を行い、通水テスト後にストレーナーおよびシャワーヘッドの掃除をしてください。
- 排水管の勾配は、排水管径φ75未満は1/50以上、φ75以上は1/100以上にしてください。
- 湯・水を逆配管しないでください。  
逆配管は水栓金具の温度調節不良の原因になり、やけどの危険があるなどトラブルの原因となります。
- 給湯機からの給湯配管は、抵抗を少なくするため最短距離にしてください。  
長くすると温度変化やお湯の出が悪くなる原因になります。
- 配管後は、必ず保温材を巻いてください。
- 温水ボイラーの配管について
  - ・給湯本管・給水本管は原則として同径同圧にしてください。
  - ・温水ボイラー設置については、必ず専門業者に施工依頼してください。

## 使用条件

### ■使用給湯・給水条件

使用水	<ul style="list-style-type: none"><li>・上水道水（飲料不可の井戸水やサビ・砂を含んだ水は使用しないでください。）</li><li>・硬度が80ppm以上の場合は、ボウル本体へのスケール詰まりを予防するため、軟水器による処理を行ってください。また、飲料可能な井戸水の場合、シャンプー時に泡が立ちにくい場合がありますので、同様に軟水器による処理を行ってください。</li></ul>
給湯・給水圧力	<ul style="list-style-type: none"><li>・0.1~0.4MPa（1~4kgf/cm<sup>2</sup>）の範囲にしてください。また、複数台での使用の場合でも0.1MPa（1kgf/cm<sup>2</sup>）以下にならないようにしてください。</li><li>・給水圧力≧給湯圧力にしてください。</li><li>・給湯圧力と給水圧力の差は、0.2MPa（2kgf/cm<sup>2</sup>）以内にしてください。</li></ul>
機器への給湯温度	<ul style="list-style-type: none"><li>・給湯温度は80℃以下にしてください。</li><li>・使用シャワー温度より10℃以上高くしてください。</li></ul>
給湯機	<ul style="list-style-type: none"><li>・給湯機は、理美容サロン専用のDANRYUシステムのご使用をおすすめします。その場合の施工方法は、DANRYUに付属の工事の手引きを参照してください。</li><li>・瞬間湯沸かし器をご使用の場合は、16号以上を使用してください。（洗髪能力は瞬間湯沸かし器1台につき、本製品1台です。）</li><li>・貯湯式ボイラーをご使用の場合は、貯湯式ボイラー説明書を参照してください。</li><li>・上記指定の給湯温度以上の高温の流体（蒸気）を流すと、給湯管が破損する恐れがありますので、給湯管に蒸気発生装置を接続し、高温の蒸気を発生させないでください。</li></ul>

# 仕 様

品番	EX-ON	*はカラーのバリエーション
	スタンダード仕様（レッグレスト固定、まくらなし）EX-ONS-*	
	スタンダード仕様（レッグレスト固定、まくらあり）EX-ONSM-*	
	プレミアム仕様（レッグレスト単動、まくらなし）EX-ONP-*	
	プレミアム仕様（レッグレスト単動、まくらあり）EX-ONPM-*	
駆動方式	電動油圧式	
外形寸法	「製品寸法図」【62ページ】参照	
シート初高	500mm	
シート昇降ストローク	210mm	
リクライニング角度 （水平からの角度）	【起き限】73°～【寝限】12°	
レッグレスト角度 （水平からの角度）	【下限】86°～【上限】6°	
ネック（ボウル）高さ	立位施術時 900mm 座位施術時 800mm	
混合方式	サーモスタット方式	
吐水方法・吐水量 （給湯・給水圧力:各0.1MPaの場合）	シャワー吐水：8.5L/min 泡沫吐水：7.1L/min	
止水栓	単水栓（ハンドル式）	
給湯温度	80℃以下	
定格電圧・周波数	AC100V・50/60Hz	
定格消費電力	360/450W	
サービスコンセント容量	100V15A  （使用可能電力は1500W以下、本製品作動時は900W以下）	
使用環境	温度 10～30℃ 湿度 10～95%（ただし結露しないこと）	
輸送および保管環境温度	温度 -20～70℃ 湿度 10～95%（ただし結露しないこと）	
質量	EX-ONS-* : 133kg EX-ONSM-* : 135kg EX-ONP-* : 143kg EX-ONPM-* : 145kg	
最大負荷	135kg	

※上記仕様については、製品により多少のバラつきがあります。

# 製品寸法図

※ボウル高さ800高さの場合  
( ) 内はボウル高さ900高さの場合

単位 [mm]

